

## 福島第一原子力発電所現地確認報告書

### 1 確認日

令和7年4月15日（火）

### 2 確認箇所

2号機原子炉建屋（図1）

※作業状況を遠隔操作室において確認

### 3 確認項目

テレスコピック式試験的取り出し装置による燃料デブリ取り出し作業の状況

### 4 確認結果の概要

2号機におけるテレスコピック式試験的取り出し装置（以下「テレスコ装置」という。）を用いた燃料デブリ<sup>※1</sup>試験的取り出し作業（1回目）は、昨年11月7日に完了し、取り出された燃料デブリは日本原子力研究開発機構の研究施設等において分析が進められている。

本日から2回目の燃料デブリ試験的取り出し作業が開始されることから、その状況を確認した。（前回確認：[令和6年11月7日](#)）

本日は主に次の①から④の状況を確認した。①原子炉格納容器の貫通孔（X-6ペネ）の前面に設置された隔離弁を解放する。②ガイドパイプ<sup>※2</sup>を押し込む。③押し込みパイプを継ぎ足す（ガイドパイプと押し込みパイプを接続する）。④ガイドパイプをさらに押し込む。ガイドパイプの押し込みによりテレスコ装置の先端が隔離弁を通過する。

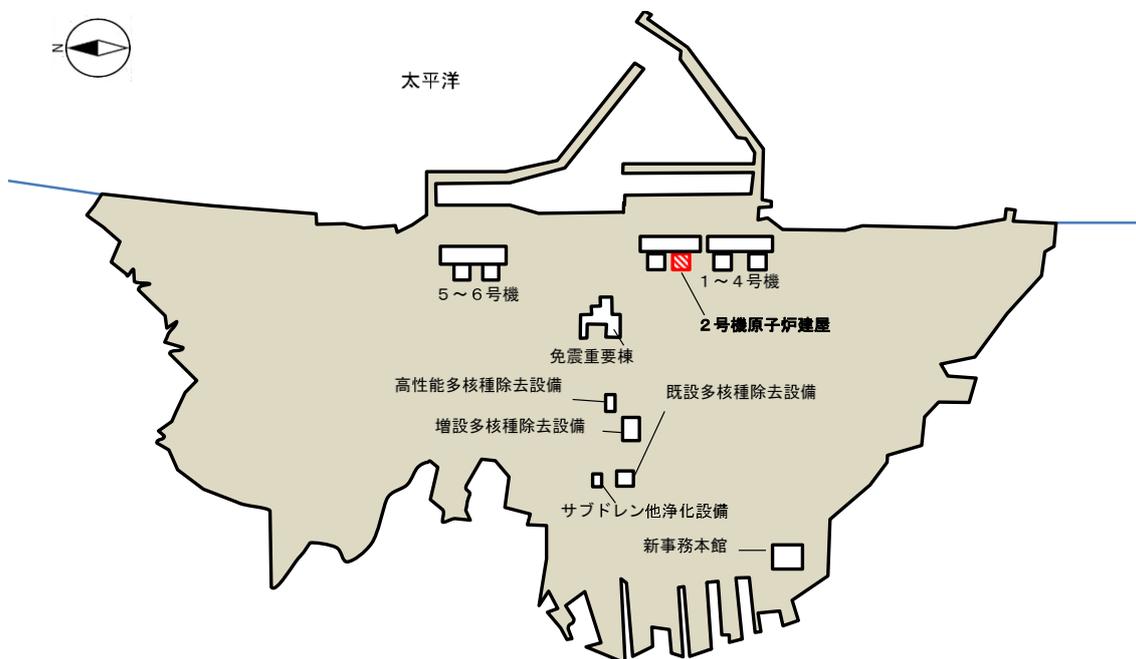
- ・テレスコ装置の囲い（エンクロージャ）内の圧力や装置の状態を確認した後、午前9時00分にデブリ取り出しに向けた作業が開始された。
- ・9時28分に隔離弁が解放された後、ガイドパイプの押し込みが開始された。（上記①及び②）
- ・10時02分にガイドパイプと押し込みパイプ（全5本中の1本目）の接続が完了した。（上記③）
- ・10時03分にテレスコ装置の先端が隔離弁を通過した。（上記④）
- ・作業はトラブルなく順調に進められた。

#### ※1 燃料デブリ

溶融した燃料が周辺の構造物を溶かし、冷え固まったもの

#### ※2 ガイドパイプ

金属でできた筒。外筒と内筒からなり、内筒は原子炉格納容器内部まで伸びる構造となっている。内筒の先には压力容器下部にアクセスするためのチルト機構・テレスコ機構が接続されている。



(図1) 福島第一原子力発電所構内概略図

## 5 プラント関連パラメータ確認

各パラメータに異常な値は確認されなかった。